

鉄路の闘い (1945)

LA BATAILLE DU RAIL
THE BATTLE OF THE RAILS [米]

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 86分

初公開日 1955/03/07

公開情報 ユニオン=独立

【解説】

フランス映画総同盟と国鉄の抵抗委員会の共同企画及び製作という、日本で言えば、今井正や山本薩夫の独立プロ作品のような映画だが、描かれるのが独軍占領下に於ける鉄道員のレジスタンスとなれば、政治的背景をとやかく言わずとも楽しめる骨太のドラマとなっている。44年、連合軍のノルマンディー上陸に慌てた独軍は軍用列車を増発して物資や兵員補給を図ったが、鉄道員たちによるサボタージュと列車転覆でこれが阻止されるという、実際に起きた事件に取材したセミ・ドキュメンタリー・タッチのクレマン長篇処女作。力強い題材を緻密な構成で一気に描ききる手際は、長い短篇製作の経験に裏打ちされたものだ。出演者も全員素人で実際にレジスタンスに参加した面々だとか。フランスの戦後にとって記録映画以上にモニュメンタルな意味を持つ秀作だろう。第一回カンヌで国際審査員賞を受賞。

【クレジット】

監督	ルネ・クレマン	Rene Clement
脚本	ルネ・クレマン	Rene Clement
撮影	アンリ・アルカン	Henri Alekan
出演	トニ・ローラン	Tony Laurent
	リュシアン・ドゥザニョオ	
	ロベール・ルレイ	Robert Le Ray
	サリナ・ドーラン	